

# 田川少年軟式野球連盟

広報

力大

1/1/01

第1回 金田町長杯

N0414

少年野球大会



!kV

福岡県金田町

ごあんない

- (P.2~3) ……新年のごあいさつ
- (P.4~11) ……試合のわだい
- (P.12~13) ……お元気ですか？ 食進会です！
- (P.14~15) ……みんなのひろば
- (P.16~19) ……くらしの情報ほか

# 21世紀年頭のごあいさつ



## 21世紀年頭にあたり ごあいさつ申し上げます

2001年の新年を迎えられたことを謹んで町民のみなさまにお慶び申し上げますと共に、年頭にあたり、21世紀の金田町づくりに向け、町民のみなさまに、ごあいさつを申し上げます。

私たちの故郷金田町に欠くことのできないものは、ITやコンピューターソフトでもありません。本当に必要なものは、人情味豊かなそして思いやりの満ちたヒューマンイズム、つまり「ちくほうの心」ではないでしょうか。

向こう三軒両隣の風土が人と人の関係を築き、地区内のいろいろな人や隣の人が、そしてガキ大将も「人と人とのつながり」の先生役を担っているのではないのでしょうか。

私たち大人も育児を通して子どもにも育てられてきたと思います。このような視点にたって、誰に対しても無関係でわなく、どこにでも特別でなく、どのような提案にもおろそかにせず、人間味あふれる豊かな町政を推し進めてまいりたいと思います。

このようにすれば、何でも可能と確信しています。民主主義とは、力でごり押しするのではなく、少数意見を尊重しながら多数意見に従うものだと思っています。

**町民による、町民のための、町民の町政、これが民主主義の原則です。**

みんなが基本から見直して、みんなが意見を言って、新しい街づくりを進めようではありませんか。みんなが、誰もが、意見を言える町に…。

ところで、私が常に申し上げてまいりましたスピード行政ですが、できること、できないことを早く町民に知らせることが基本です。誰が来ようができることはできる、できないことはできない、これらを早く明らかにし、即答できるもの、1カ月でできるもの、3カ月でできるもの、1年かかるもの等の区別を明確にしたいと思います。

また、いろいろな人たちから意見を求める意味でも、各種委員にしても、原則、公募。情報公開についても、プライバ



シーを守るためにも早く制定し、特定の人だけでなく全町民に対して積極的な運用を図ります。

次に、ハイクォリティーな福祉社会の実現についてですが、きめ細かい福祉を推進するのが、ねらいであります。現在、医療保険、介護保険とありますが、今、健康で暮らしている方に対しても生活保険という認識のもと、金田町はこれらの人にも考慮をし、生涯福祉の考え方を導入すべき時期にきていると思います。

ここ数年来、マスコミ等でも議論を呼んでいる少年犯罪の低年齢化の問題ですが、教育については、その人の特性に合わせた教育こそが平等と思っています。多種多様な能力を有するそれぞれの才能を伸ばす教育こそが教育であります。したがって、高齢者のみでなく、生まれてから死ぬまでの生涯福祉を考えたい。そのためには、シンナー問題などの薬物中毒の根絶が必要です。金田町の将来にとっても、思考能力が害されることは絶対に防がなければなりません。若い人たちにもいろいろなことに熱中できるチャンスの場を設け、若人たちが社会的規範を守りながら、自主的に運営できることも考慮してみたいと思います。

最後に、役場職員については、役場は金田町内でも大手企業であるという自覚をもつと同時に、「上」を見るのではなく、町民がいつも見ているという自覚のもと、自分たちで襟を正す勇気が必要です。せめて地方自治法の基本は守るという基本ができてこそ、まちづくりに着手できるものと思います。

職員の意識が変わらない限り、地方分権は推進できません。田川の広域合併にしても、金田町がリーダーシップを取れるくらいにならなければなりません。酒を飲んでの解決の政治は、時代錯誤です。太陽の明るいときに発言して、昼間解決してこそ、女性にもチャンスが生まれます。業者との関係やその他、地方自治体職員としてルールを確立しましょう。

今後町民のみなさまと、いろいろところで、話し合えるチャンスをいただけるものと思います。私もいろいろなことを提起もしたいと思いますが、どんなときでも、合言葉は、「金田町は、みんなでつくろうよ」です。よろしく願いいたします。

町長 吉田桃生



## 謹んで新春のお慶びを 申し上げます

町民のみなさま方には、希望に満ちた新春をお迎えなされたことと、ご推察申し上げます。

私、議長に就任以来、議会の円満な運営と町政の進展を第一義として、誠心誠意努力してまいり、おかげをもちまして、大過なく越年することができました。



## 新世紀の夜明けにあたって

謹んで元旦のお祝いを申し上げます。

(私事で恐縮ですが)私の古庭に柿の大樹があります。父が明治29年(1896)に誕生した祝いに祖父が継ぎ木したとい新銘丹という品種だと聞いております。以来105年。一抱えの幹となったこの木は私共の子どもの頃から毎年甘い果を恵んでくれ、秋の暮れにはモズ、メジロ、ヒヨドリ達もやって来て食べたものです。

平均寿命が長くなったとはいえ一世紀百年を生き抜く事は容易ではありません。それに比べますと縄文杉のように植物は遥かに長寿を保ちますし、反対に昆虫などでは夏から秋までという短命のものもあって、改めて生命という意味を考え、自己が生きることの価値ということを思います。

あかあかと一本の道通りたりたまきはる我がいのちなりにけり【斎藤茂吉の歌集】

これは、ひとえに皆さまの御支援と御協力のたまものと、深く感謝申し上げます。

さて、いよいよ21世紀の新時代となり、政治・経済はもちろん、教育・環境・老人福祉等、あらゆる分野にわたり町民生活の安定を図るべく、町政の運営に当たらなければならないと痛感しています。

明治時代以来続いてきた中央集権的な制度が改革され、地方分権が実行の段階を迎え、町独自の政策展開の道が開け、自治体運営の能力を高めていくことが求められる年ではないかと思えます。

私たち町議会は、町当局とともに、この時代の急速なる変動に遅れることなく的確な対応を心がけ、町政全般にわたり内容充実のため最大の努力を傾注する所存でありますので、町民のみなさま方には今後とも深いご理解とご支援をたまわりますよう、お願い申し上げます。

年頭にあたり、みなさま方の益々のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、御挨拶いたします。

議会議長 若林佐久馬

歴史上の紀元とか世紀とかいう時間の尺度は人間によって考え創られたものですが、では、人間がいなければ時間は無いのでしょうか。地球ができてから45億年余といわれますが、その時にはまだ生物も人間もいなかった。

ハワイのパロマ天文台で近頃発見されたという星雲の一つに120億光年の遠くにある実態が見えたと伝えられます。これは時間ではなく空間の距離ですが、宇宙の大きさは人の脳で認識するのは難しいことです。

人間を中心として考えますならば、時間を作ったのは人間(歴史も)、神や仏(宗教)や、ことばやお金を作ったのも人間……人間を作ったのも人間。だがそれでみんな納得しているのでしょうか。天賦人權説(人権とは天から授かったもの、天とは神々)。人間が神にとって代わる時代と言われたこともあります。果たしてそれほど進歩しているのでしょうか。地球温暖化、大気汚染、少子化、犯罪の増加、消費と廃棄物等、それらはあくまで経験説という思想の範囲内での考え方が基礎となった人間の脳の働きであると言えます。現在を作ったものが人間の知性と思考力ならば、将来の問題を解決するものも同様であると考えざるを得ません。21世紀という透明な未来圏に向かって夢と希望という人類の発展は必然とは言えません。課題に対して限りない混頓と偶然という闇に立ちすくむ気がします。

かくて故郷金田の地から広く世界の状態を展望し、町民のみなさまと共に知恵と力を養うために平素愛読した古典の一節を味わいたいと存じます。

「それを考えることしばしばであり、かつ長きにおよぶにしたがい。つねに新たな感嘆と畏敬とをもって心を充たすものが二つある。わが上なる星しげき空とわが内なる道徳法則がそれである。」【カント・実践理性批判より】

教育長 田中貴美男